

奨励賞

大企業区分

株式会社タカヤマ

※事業者の情報は応募時点(2018年)

所在地	埼玉県所沢市南永井 37-9
業種	廃棄物処理業
社員数	122名(単体)
受賞歴	なし
ウェブサイト	http://www.takayama.org

環境企業として持続可能な目標達成にむけた人材育成

取組の目的

弊社は産業廃棄物の「汚泥」を適正処理しきれいな水にすることを主目的とした、環境負荷低減をターゲットにした会社です。

そのためにも将来の環境事業を担う人材育成が必須であると考え、主に若手社員の育成に努めてまいりました。

取組としては、

- ① 2009年より「タカヤマアカデミー」と名付けた全社員参加での勉強会を実施し、「環境」「人材育成」「品質向上」「コミュニケーション」を中心とした内容で若手社員達をインストラクターとして育成してまいりました。そして2017年から2年間SDGsに本格的に取り組むため、全社員が理解を深める学習を実施し、課題抽出、目標設定を決定し、2018年10月13日に全社員参加の「経営計画発表会」にて会社の目標を発表(経営統合)し、ホームページや各媒体(日経ESG、月間廃棄物)の掲載で発表しました。
- ② 2001年より「若タカ会」と称した、新卒社員で構成された取組で、毎年発行されるCSRレポートの作成、地元の公園や河川の清掃活動のボランティア、環境事業や人材育成の見本となる企業への出張勉強会を実施しています。(2018年11月現在 28名)
- ③ 2012年よりエコアクション21を認証登録し、エコドライブ研修によるCO₂削減、使用水の削減、また廃棄物削減のため紙などの再資源化を目標設定し行動しています。
- ④ 2011年から実施した全国のパートナー企業との勉強会を兼ねたセミナーにて、2018年度の「第7回品質向上パートナーシップセミナー」企業41名参加での持続可能な経営をメインとした講演会を実施しました。

取組の実績

タカヤマアカデミーによる環境人材育成、SDGsの取組

1. 2018年8月8日～2018年9月26日 122名参加(全14回)
2. テーマ「憧れの会社に向けて」
3. 内容 SDGs経営で未来を切り開く

※SDGコンパスに沿って、弊社ならではのSDGs活動を明確化、具現化することを目的とし、社員一人一人が取り組めるSDGs経営を思考し、グループワークを通じてディスカッションし優先課題を発表しました。



② 若タカ会

1. ボランティア活動

年2回(所沢市航空公園清掃ボランティア、22名、4月、本庄市女堀川、17名、5月)

2. 育成研修 年3回

テーマ 1「タカヤマの将来を担う方達にとって、今知っておくべき労務の知識を学ぶ」

テーマ 2「ディズニーキャストに学ぶ働く姿勢と期待形成」

テーマ 3「日常の業務では得られない知識を深め、視野を広げる」

3. CSRレポート作成及び発行



女堀川ボランティア活動

③ エコアクション21

電力消費削減 機器類のガス消費削減 ガソリン消費削減 軽油消費削減

※上記削減目標達成のため、「品質環境推進委員会」を各部門の10名により進捗状況の確認と改善、是正を提言している。

④ 品質向上パートナーシップセミナー

2018年7月13日に東京都品川区において、全国のパートナー企業29社41名が集い、「リスク管

理と企業の成長」と題して

第一部 「リスク管理」

第二部 第二部 「これからの廃棄物処理業～リスクと機会～ ～持続可能な経営の観点から～」

※第二部ではSDGsの観点から講演を開催。

成果・課題

① タカヤマアカデミー

成果

1. やる気や働きがいの向上につながった 107 名中 81 名
2. 内容が理解できた 107 名中 102 名
3. タカヤマが取り組むべき SDGs 目標 全 424 件の優先課題、目標が発表された。

課題

今年度の SDGs 目標は、①今まで継続している内容に高い目標設定を設ける、②今できるお金のかからない目標設定を設ける、の 2 つを中心にした実践を1年間行うことを決めました。しかし、長期スパンでのお金がかかる目標も設定しなければならず、具体的な工程を定め、実践できるかが課題となっている。

② 若タカ会

成果

今年度、部長 1 名 係長 3 名 主任 2 名 昇進

課題

1. 入社経験別に幹部育成コースと若手育成コースに分かれて活動しているが、新卒の育成と入社 2～3 年の若手とでは、知識、経験の差があり、同じ内容では無理な時期にきている。今後はより分割したコースが必要と思われる。
2. 日常業務との並立が困難な時期があり、スケジュール的に厳しい人材が存在した。

③ エコアクション21

成果

ガソリン及び機器類のガス消費削減は目標を達成

課題

業務車両の軽油消費削減と電力消費削減は未達成

④ 品質向上パートナーシップセミナー

成果

アンケート結果により、非常に満足・満足 併せて 95%

※「世の中が急激に変化していく中、何のためにこの仕事を行っているのか、目的や使命を再認識するべきと感じた」という意見のもあり、社会のため、持続可能な世界を作り出す一翼を

担っているという意識が高まった。

課題

北海道から九州までのパートナー企業がいるので、地域によりSDGsの意識が異なっている。

今後の改善

① タカヤマアカデミー

1. アンケート結果によると理解不足の人材5名が存在している。彼らへの研修強化とインストラクター育成も強化する必要がある。
2. 今年度は費用がかからず、1年間で実現可能な目標を設定したが、来年度以降はより中長期的な、費用もかかる目標設定をする必要がある。

② 若タカ会

1. 育成コースを3~4段階に分けて活動する。
2. スケジュールをより細かく計画し、日常業務に差障りのないようにしていく。

③ エコアクション21

軽油の消費削減が未達成であった為、今期よりSDGs目標に業務車両(軽油)のエコドライブ目標を設定して実践している。

④ 品質向上パートナーシップセミナー

今後は弊社が中心となり、SDG コンパスの推進を各企業に促し、啓蒙していくことが必要である。

関連・補足情報

2018 年度版 環境活動レポート

<http://ea21.jp/list/pdfn/0008168.pdf>

審査委員会からの講評

会社の経営方針にSDGsを積極的に取り入れ、それを軸に人材育成を行っている。具体的な施策として、タカヤマアカデミーにて全社員に向けたSDGs活動を明確化し、グループワークやディスカッションを積極的に行っている。また、若タカ会のように若手社員が教育と体験の両立を図った取り組みをするなど、人材育成に力を入れていることは教育の体系もしっかりとしており、高く評価したい。

また、SDGsを取り入れた目標設定として、費用をかけた取り組みではなく、費用がかからない目標設定をあえて入れたことが興味深い。実現するためには当然工夫が求められるが、構築できれば会社独自の人材育成の方向性が創造されると思われる。今後に期待したい。